

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課	08地域振興課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆			会計区分	一般会計	事業通番	804	事務事業コード	0806
事務事業名	交流居住・定住促進対策事業					開始年度	平成15	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し	例規等	佐渡市空き家情報システム制度要綱 佐渡市若者定住家賃等補助金交付要綱 他				
将来ビジョン	2. 観光等交流人口の拡大 (2)交流人口の拡大							H26:重点●政策○	●
H27施政方針	1. 人口減少対策 (1)若者の定着支援							H27:重点●政策○	●
H28施政方針	2. 島の魅力の発信とおもてなしの推進 (4)産業間連携による観光産業の構築							H28:重点●政策○	●
事業概要	PR・情報提供 ①さど暮らしセミナー(移住者相談会)、②移住定住促進PR、③ふるさと交流会(首都圏での佐渡出身者交流会) 誘導策 ④さど暮らし体験モニターツアー、⑤さど暮らし体験住宅貸し出し、整備、⑥移住コンシェルジュ、⑦空き家現地視察に係る旅費補助金 受入支援 ⑧空き家改修費補助、⑨若者定住家賃補助、⑩移住者セミナー(移住者と地元の交流会)								
対象	島外者及び定住希望者								
意図 (対象をどのようにしたいか)	佐渡への貢献とU・Iターンや二地域居住を促進する。								

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
定住の促進	移住者数	11組/年	15組/年
定住の促進	新規空き家情報登録件数	24件/年	25件/年

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	26年度 実績値	27年度(評価年度)		28年度 目標値	29年度 目標値	31年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	移住者数	組	16	20	18	25	30	40
算式	-							
	新規空き家情報登録件数	件	20	15	37	20	20	25
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H26 決算額	H27 決算額		H28当初 予算額	H29以降の 予算の方向性		重点 細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H26実績値	目標値	実績値	H28目標値	事業の方向性		
1	空き家対策事業			1,295	3,525		1,440	予算 事業	維持	◎
	指標	空き家登録件数	件	18	15	37	15			
2	佐渡準市民制度事業			9,366	10,589		9,773	予算 事業	維持	○
	指標	準市民登録者数(新規)	人	1391	1000	1066	1000			
3	若者定住支援事業			2,834	7,448		27,267	予算 事業	維持	○
	指標	家賃補助世帯数	世帯	4	15	6	15			
4	企業・自治体パートナーシップ事業			0	707		3,522	予算 事業	減額	
	指標	来島団体数	団体	0	20	0	20			
5	女子ファンクラブ			0	1,596		2,640	予算 事業	減額	
	指標	会員数(新規)	人	0	100	130	100			

事業費の合計(千円)

13,495	23,865	44,642
財源内訳		
国庫支出金	4,942	11,467
県支出金	0	400
地方債	0	0
その他	1,972	10,600
一般財源	6,581	22,175

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	空き家対策事業	B	A	A	空家等対策の推進に係る特別措置法により、危険家屋のほか利活用可能な空き家の把握を行ったところ。今後危険家屋への移行を防止するため、また移住者受入施策のためにも、島内の利活用可能な空き家を有効活用する働きかけは必要。
2	佐渡準市民制度事業	B	A	A	制度内容の見直し及び類似制度との整理が必要
3	若者定住支援事業	C	B	B	移住体験住宅の整備や佐渡暮らしセミナー、移住体験モニターツアーの実施など、新たな誘導策の実施により、移住者数は増えている。移住定住特設サイトもリニューアルしたが、更に魅力的な仕立てとし、PRを強化することで移住者を呼び込む。
4	企業・自治体パートナーシップ事業	B	C	A	来島件数の拡大を図る。しかし、平成27年度は事業開始1年目のため、佐渡認知のためのPRや制度周知が主体となり、団体の来島につながらなかった。 また、パートナーシップ団体登録件数の更なる増加に努める。
5	女子ファンクラブ	B	A	A	会員登録増加の啓発。佐渡の魅力ある交流及び体験を行うモニターツアー等を企画し佐渡来島を促す。また、佐渡来島のリピーターになり最終的には移住に繋がるような仕組みを検討する。
Action		◆今後の事務事業の方向性◆			
評価(担当課長)		事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		「PR・情報提供」「誘導策」「受入れ支援」の3本柱で本事業を展開しており、どの分野も並行して実施する必要があるが、「なぜ佐渡か」「佐渡でなくてはならないか」の視点を意識した事業展開に努めたい。キーワードは「佐渡の魅力」。情報収集を図るほか、関係課と連携して「佐渡の魅力」を伝えていきたい。			